

# 神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年3月23日 作成 神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第11週 2016年 3月 14日 ～ 2016年 3月 20日

設置定点数 48 ケ所

## インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	99	73	43	25	97	61	147	179	178	902		3	16	29	40	63	79	61	58	79	58	190	38	25	57	43	28	17	15	3

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

## 小児科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症		1						1	1	3	1		1		1									
咽頭結膜熱	2	2	1			1	1	2	3	12		1	6			4	1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	5	5		1	4	7	9	18	51			1	1	6	5	7	4	6	5	7	7		2
感染性胃腸炎	9	13	11		17	1	25	70	9	155	3	8	18	14	11	18	18	11	6	5	6	18	4	15
水痘	3			1	1		1	1	1	8		1					4	1	1	1				
手足口病																								
伝染性紅斑					5		1	2	2	10						3	2	2	2	1				
突発性発疹		2	1			1	2	1	4	11		4	5	2										
百日咳																								
ヘルパンギーナ																								
流行性耳下腺炎					8				2	10					3			4			1	2		

今週、侵襲性肺炎球菌感染症の届出が4例ありました。肺炎球菌は肺炎の原因として最も多い菌ですが、小児や高齢者を中心に免疫が低下した人の場合は、髄膜炎・菌血症を伴う肺炎・敗血症などにかかり重症化しやすくなります。感染経路は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきによる飛沫感染です。感染しても必ず発症し、重症化するわけではありません。感染予防には、ワクチン接種が有効です。乳幼児および、高齢者の定期予防接種の対象者は全額または一部公費助成により接種できます。かかりつけ医と相談の上、接種してください。対象年齢等詳細については、市ホームページ等でご確認ください。

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

## 眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎								1	1	2						1								1					

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

東灘区○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:0～4歳男(6101)  
中央区○マイコプラズマ感染症2例:10代男(6301)  
垂水区○病原性大腸菌感染症1例:性別・年齢不詳(6804)  
西 区○アデノウイルス感染症2例:性別・年齢不詳(6903)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は0人です。

【市内の感染症の状況】

インフルエンザの定点あたり患者数は18.79人で  
2週連続で患者数は大きく減少しています。(先週は29.02人)

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [検索](#)

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年3月23日 作成

## 全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 デング熱)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	20代	2016年3月14日	2016年3月19日	2016年3月22日	デング熱	血清での非構造蛋白 (NS1) の検出	発熱、頭痛、血小板減少、白血球減少等	蚊からの感染	インドネシア(バリ) 渡航歴あり

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 アメーバ赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	60代	/	2016年12月8日	2016年3月18日	腸管アメーバ症	ELISA法による病原体抗原の検出 (大腸粘膜組織)	便潜血陽性	経口感染	
女	50代	/	2012年12月1日	2016年3月22日	腸管アメーバ症	鏡検による病原体の検出 (大腸粘膜組織)	下痢、腹痛	不明	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0-4歳	2016年3月19日	2016年3月20日	2016年3月21日	/	臨床診断	発熱、意識障害	飛沫感染	インフルエンザ B型

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2016年2月28日	2016年2月29日	2016年2月29日	/	血液培養法	ショック、肝不全、急性呼吸窮迫症候群	不明	血清群:A群

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	50代	2016年3月10日	2016年3月10日	2016年3月12日	/	血液培養法	発熱、肺炎	飛沫感染	

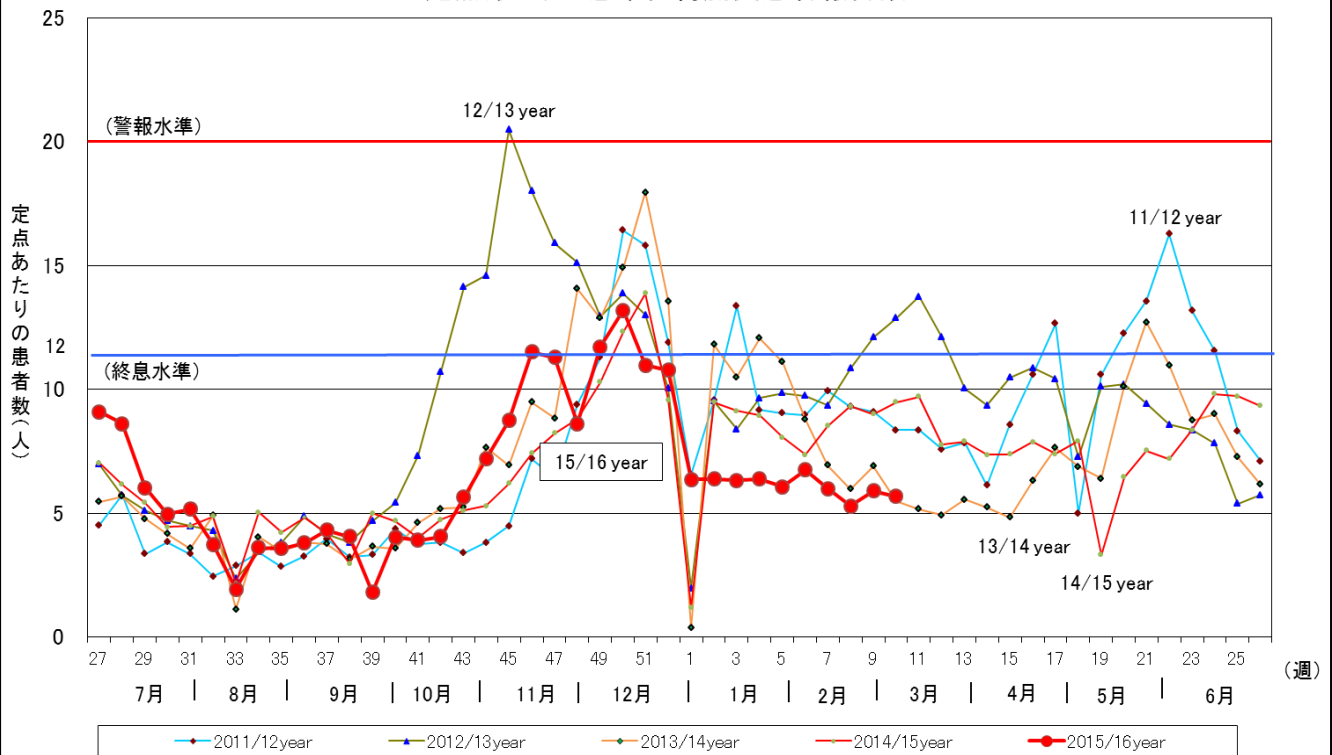
## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	70代	2016年3月15日	2016年3月15日	2016年3月15日	/	血液培養法	全身倦怠感、肺炎、菌血症	不明	
男	40代	2016年3月9日	2016年3月12日	2016年3月12日	/	血液培養法	発熱、菌血症	不明	
男	5-9歳	2016年3月15日	2016年3月15日	2016年3月18日	/	血液培養法	発熱、意識障害、菌血症	保菌 (副鼻腔炎)	
女	0-4歳	2016年3月19日	2016年3月19日	2016年3月20日	/	血液培養法	発熱、痙攣、意識障害、菌血症	飛沫感染	

## 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
A型インフルエンザウイルス (A/H1pdm09)	気管支洗浄液	中央	62歳女性 (3/4採取、38.0℃、インフルエンザ、肺炎、ワクチン接種歴不明)
B型インフルエンザウイルス (山形系統)	鼻腔拭い液	東灘	1月女児 (3/2採取、38.0℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



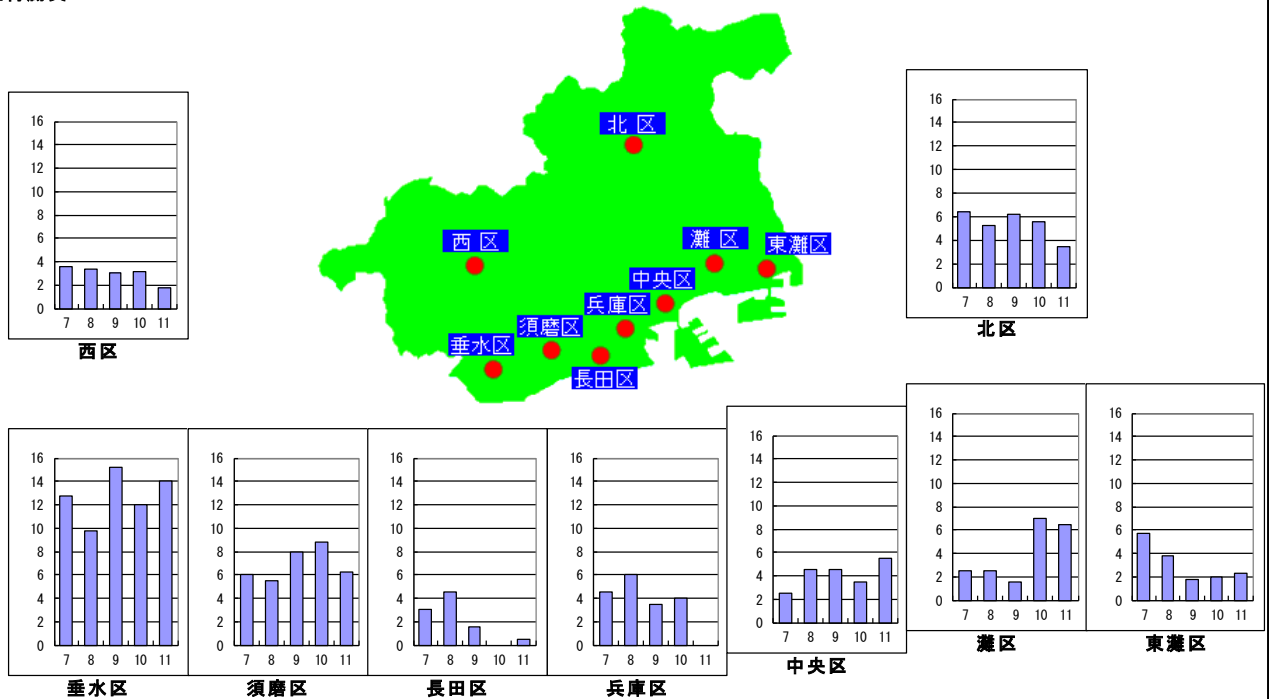
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 7 週 平成28年2月15日

～

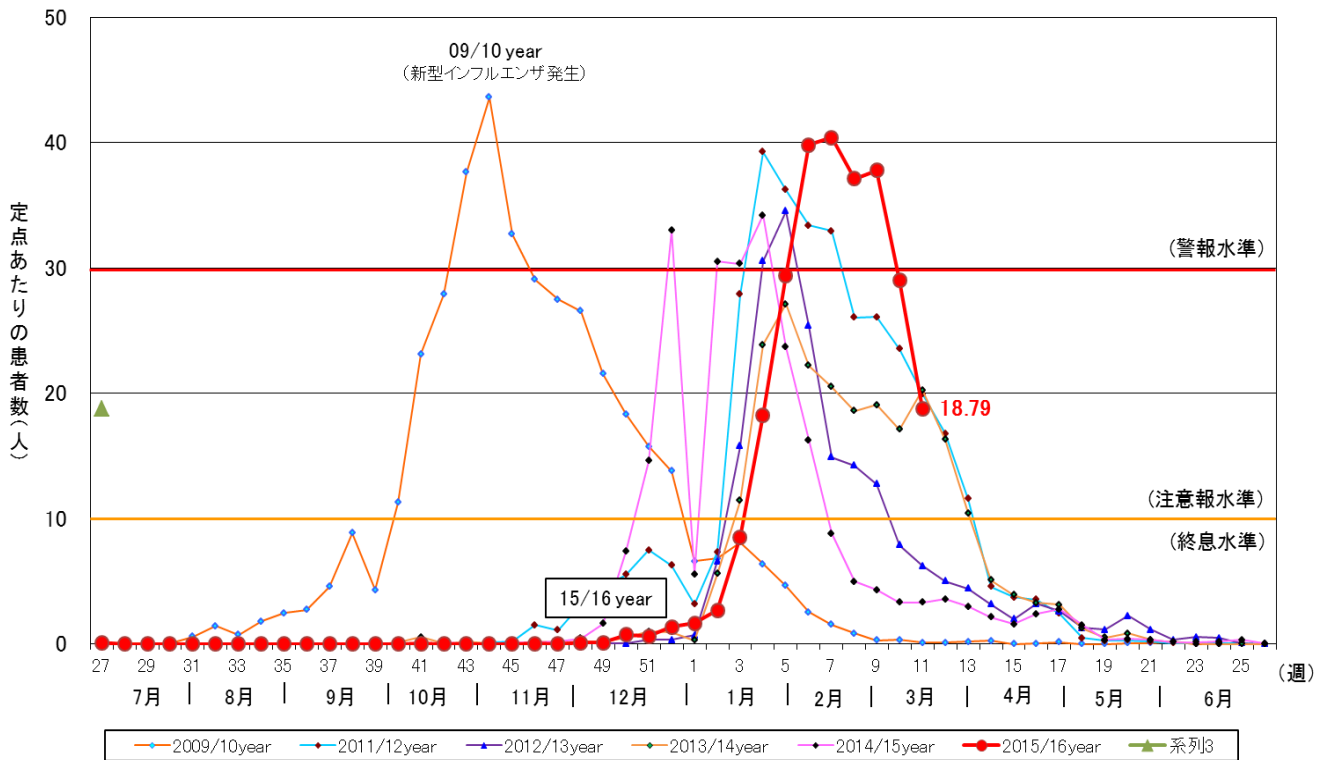
第 11 週 平成28年3月20日

感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

# 定点あたりのインフルエンザ患者報告数



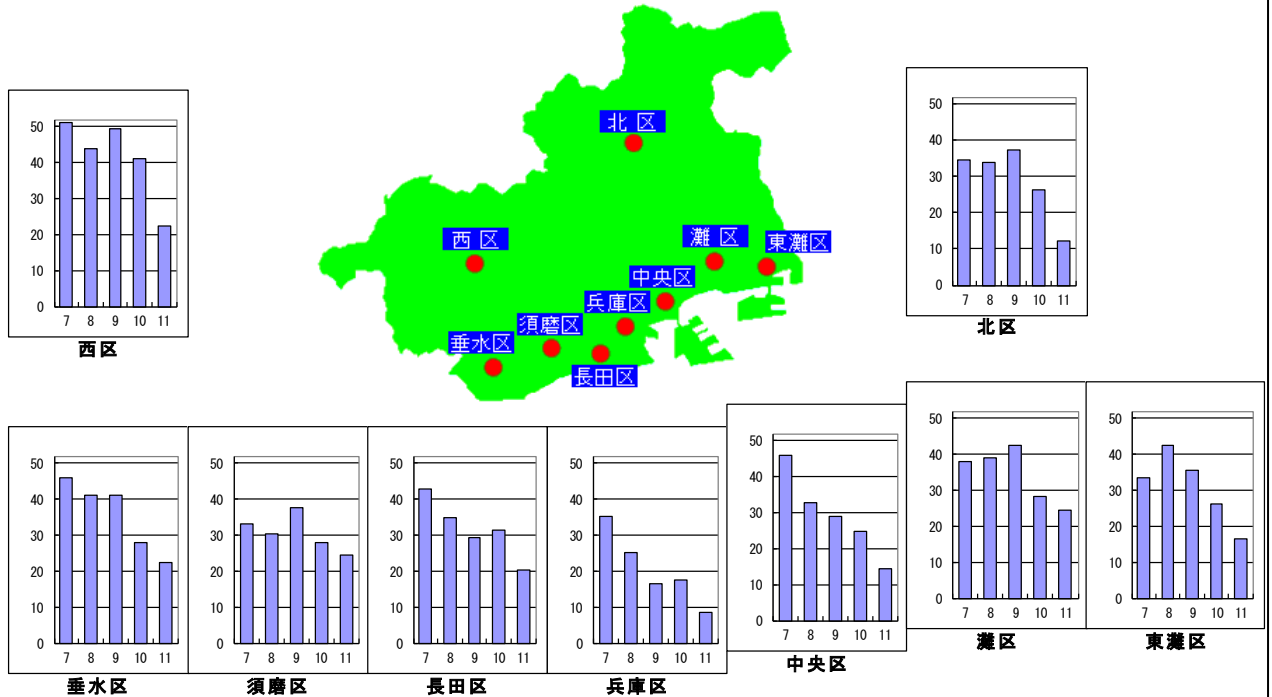
## 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 7 週 平成28年2月15日

～

第 11 週 平成28年3月20日

### インフルエンザ



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。